

服用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

頭痛・歯痛・神経痛・生理痛

解熱鎮痛薬 レーケン錠

本剤は頭痛・歯痛・生理痛などの痛みに、また、悪寒・発熱時の解熱にすぐれた効果を発揮する鎮痛解熱剤です。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと。(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないこと
- 長期連用しないこと

相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。
 - 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
 - 高齢者。(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

| 関係部位 | 症 状 | 関係部位 | 症 状 |
|------|-------------|-------|---------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ | 精神神経系 | めまい |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 | その他 | 過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起ることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|---|--|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (ステイブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。 |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| ぜんそく | 息をすするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |

- 5〜6回服用しても症状が良くならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

効能・効果、用法・用量、成分・分量、保管及び取扱い上の注意、お問い合わせ先については、裏面をよくご覧ください。

効能・効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日服用回数 |
|------------|---------|---------|
| 大人(15才以上) | 2 錠 宛 | 2 回 |
| 11才以上15才未満 | 1 錠半宛 | |
| 7 才以上11才未満 | 1 錠 宛 | |
| 5 才以上7 才未満 | 半 錠 宛 | |
| 5 才未満 | 服用しないこと | |

注意：(1) 用法・用量を厳守すること。

(2) 小児に服用させる場合は保護者の指導監督のもとに服用すること。

(3) 錠剤の取り出し方：右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。(誤ってシートごと飲み込むと、のどに突き刺さるなど思わぬ事故につながります。)



成分・分量

4 錠 (成人の1日服用量) 中

| はたらき | 成 分 | 含量 |
|--|-----------|-------|
| 持続性の中樞性鎮痛作用を有し、アセトアミノフェンと協力して鎮痛効果をたかめます。 | エテンザミド | 600mg |
| 中樞性の鎮痛作用により、頭痛・歯痛・生理痛・神経痛の痛みをしずめます。 | アセトアミノフェン | 600mg |
| 拡張した脳の血管を縮小する作用があり、脳血管の拡張によって起こる頭痛を軽快させます。 | 無水カフェイン | 150mg |

添加物として、セルロース、カルメロースCa、クエン酸Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

製造販売元 **渡辺薬品工業株式会社**

富山市水橋北馬場1番7

☎ 076 - 4923

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931